

受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「BAMワールド・ボンド&カレンシー・ファンド（毎月決算型）」は、2025年11月10日に第330期決算を行いました。

当ファンドは、インカム・ゲインの確保と信託財産の成長を目指しており、当作成対象期間につきましてもそれに沿った運用を行いました。

ここに謹んで当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

第330期末(2025年11月10日)

基準価額	3,908円
------	--------

純資産総額	10,983百万円
-------	-----------

第325期～第330期

騰落率	2.0%
-----	------

分配金(税込み)合計	60円
------------	-----

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

(注) 基準価額および分配金は1万口当たりです。(以下同じ)

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載しております。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、弊社ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により書面にて交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

ホームページにアクセス

(<https://www.barings.com/ja-jp/individual>)

⇒「ファンド情報」を選択⇒「ベアリングスの投資信託」の

「詳しく見る」を選択⇒「運用報告書一覧」を選択

⇒当ファンドを選択

BARINGS

交付運用報告書

BAMワールド・ボンド&カレンシー・ファンド (毎月決算型) (愛称) ウィンドミル

追加型投信／海外／債券

第325期(決算日2025年6月10日)	第328期(決算日2025年9月10日)
第326期(決算日2025年7月10日)	第329期(決算日2025年10月10日)
第327期(決算日2025年8月12日)	第330期(決算日2025年11月10日)

作成対象期間(2025年5月13日～2025年11月10日)

運用報告書に関する弊社お問い合わせ先

ベアリングス・ジャパン株式会社 営業本部

電話番号：03-4565-1040

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

※お客様の口座内容などに関するご照会は、お申込みされた販売会社にお尋ねください。

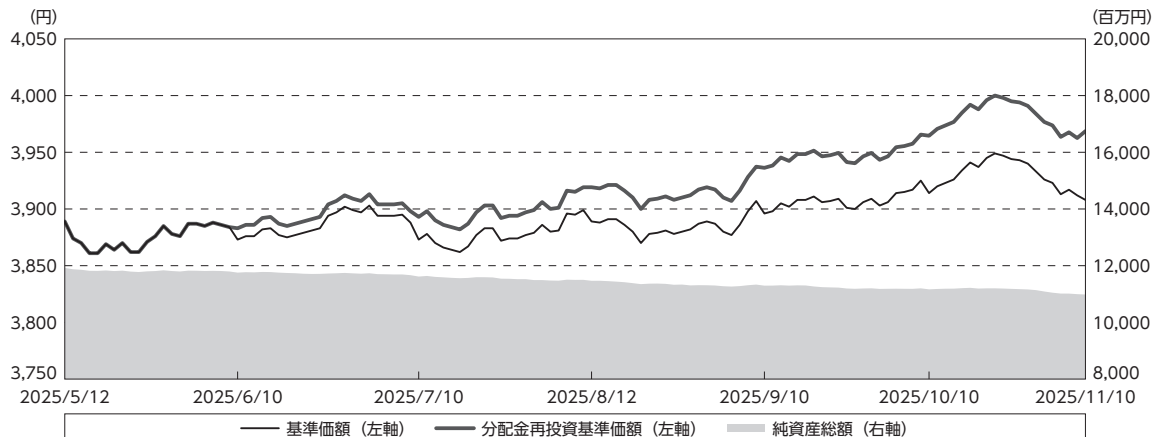
ベアリングス・ジャパン株式会社

東京都中央区京橋二丁目2番1号 京橋エドグラン7階

<https://www.barings.com/ja-jp/individual>

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移 (2025年5月13日～2025年11月10日)



第325期首：3,889円

第330期末：3,908円 (既払分配金:60円)

騰落率：2.0% (分配金再投資ベース)

(注) 作成期間とは、表紙記載の作成対象期間を示します。(以下同じ)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2025年5月12日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。(以下同じ)

(注) 上記既払分配金は、作成期間中の分配金(税込み)合計額です。

○基準価額の主な変動要因

主要投資対象である「ベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンド」における当作成期間中の基準価額は、2.9%の上昇となりました。

上昇要因

■買い持ちとしていた間にオーストラリアドルが対円で上昇したこと、ユーロ圏のスペインやイタリアのスーパーレッドが縮小したこと、金利が低下したニュージーランドの保有債券の価格が上昇したこと等が基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

■外貨エクスポージャーを円ヘッジする際に生じた為替ヘッジコスト等が基準価額の下落要因となりました。

1 万口当たりの費用明細（2025年5月13日～2025年11月10日）

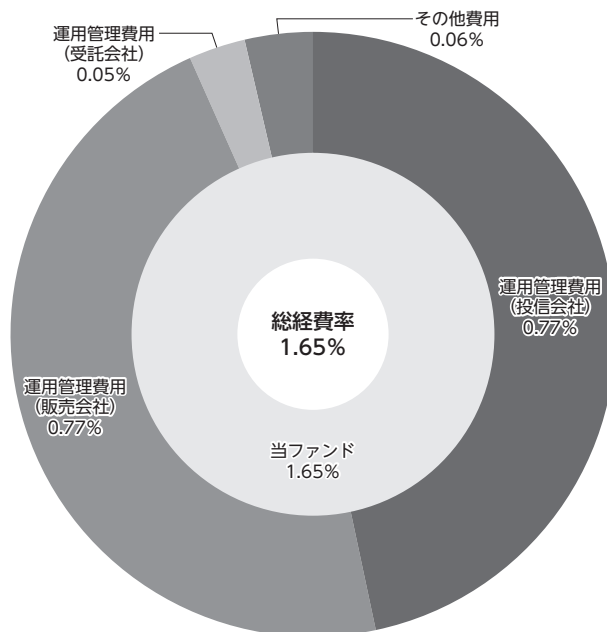
項 目	第325期～第330期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	円 31	% 0.795	(a) 信託報酬＝作成期間中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(15)	(0.384)	投信会社分は、ファンドの運用、基準価額の算出、法定書類等の作成等の対価
（販売会社）	(15)	(0.384)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.027)	受託会社分は、運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	1	0.028	(b) その他費用＝作成期間中のその他費用÷作成期間中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.025)	保管費用は、資産を海外で保管する場合の費用
（監査費用）	(0)	(0.003)	監査費用は、ファンドの監査にかかる費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要する諸費用
合 計	32	0.823	
作成期間中の平均基準価額は、3,895円です。			

- (注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。なお、(b) その他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注) 信託報酬および監査費用にかかる消費税は作成期間末の税率を採用しています。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(参考情報)

○総経費率

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.65%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

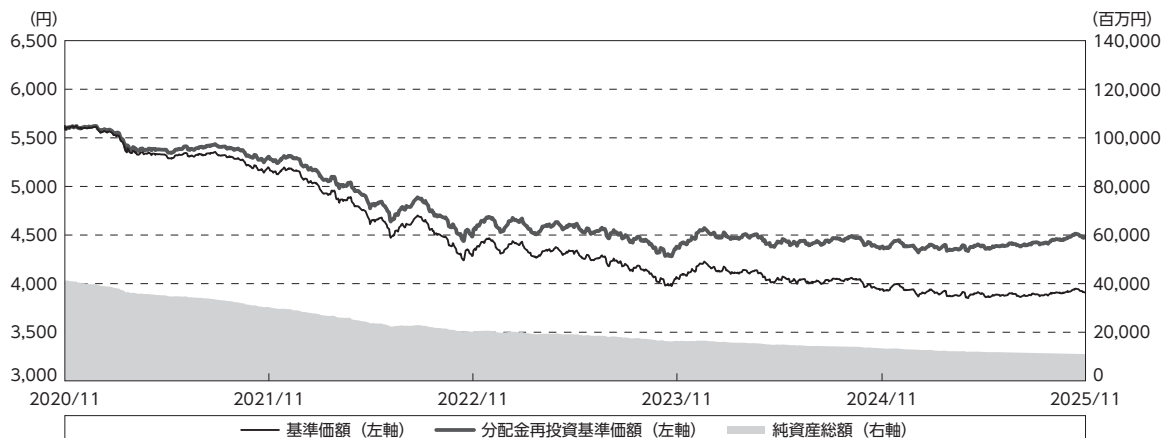
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移（2020年11月10日～2025年11月10日）



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、2020年11月10日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

	2020年11月10日 決算日	2021年11月10日 決算日	2022年11月10日 決算日	2023年11月10日 決算日	2024年11月10日 決算日	2025年11月10日 決算日
基準価額(分配落ち) (円)	5,614	5,189	4,293	4,060	3,941	3,908
期間分配金合計(税込み) (円)	—	120	120	120	120	120
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△5.5	△15.1	△2.7	△0.0	2.3
純資産総額 (百万円)	41,416	30,333	20,144	16,416	13,380	10,983

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

■ 投資環境（2025年5月13日～2025年11月10日）

◎債券市場

当作成期間前半は、米国では各国との関税交渉の合意期待により、インフレ再燃懸念が和らいだことや、米連邦準備制度理事会（FRB）高官からの早期利下げ再開を支持する発言に加え、2025年8月に発表された米雇用統計で非農業部門雇用者数の増加幅が下振れたことで、米金利は低下しました。欧州では、ラガルド欧州中央銀行（ECB）総裁が利下げ局面の終わりに差し掛かっていることを示唆し、金利は上昇しました。

当作成期間後半は、米国では2025年9月に発表された非農業部門雇用者数も弱く、労働市場の悪化が懸念されたほか、FRBが9月に利下げを再開し、さらに年内2回の追加利下げを示唆したことから、米金利は低下しました。欧州では、インフレ率が目標の2%近辺で推移するほか、景気が底堅さを保っていることを背景に、ECB高官から追加利下げに慎重な発言が相次ぎ、金利が上昇する場面がありましたが、トランプ大統領が中国への圧力を強めると金利が低下しました。

当作成期間の債券市場の動きを10年国債利回りで見ると、米国では当作成期首の4.47%から当作成期末4.12%へ低下、ドイツでは2.65%から2.67%へわずかに上昇しました。

◎為替市場

為替市場では、自民党総裁選で財政拡張・金融緩和志向が強い高市氏が当選したことに加え、日銀が高い不確実性を背景に政策金利の据え置きを続け、利上げに向けて前進が見られなかったことから、米ドルは対円で上昇しました。ユーロは米ドルの信認低下によって需要が高まり、対米ドル、対円ともに上昇しました。当作成期間の米ドル・円相場は、当作成期首の146円近辺から当作成期末の154円近くへ米ドル高・円安が進行しました。

■ 当ファンドのポートフォリオ（2025年5月13日～2025年11月10日）

<B AMワールド・ボンド&カレンシー・ファンド（毎月決算型）>

「ベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンド」を高位に組入れました。

<ベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンド>

<デュレーション>

米国の関税政策や地政学的リスクをめぐる不確実性を背景とした景況感（ソフトデータ）の低迷が实体经济に顕在化し、消費、雇用、設備投資（ハードデータ）の悪化に繋がれば、中央銀行は景気配慮の姿勢を鮮明化させると予想しました。その場合、米国も景気抑制姿勢の解除を加速すると予想しました。金融緩和姿勢の変化の度合いによっては、債券市場を強気と見ていたニュージーランド、オーストラリア、ユーロ圏に代わり、米国の配分増を検討しました。海外景気の動向、金融政策、政治的要因が財政や経済活動にもたらす影響等を慎重に見極めつつ、デュレーション*の調整を行いました。ポートフォリオ全体のデュレーションは、当作成期末時点で約6.2年としました。

<国別配分>

当作成期首は、先進国ではニュージーランド、ユーロ圏、オーストラリア等へ厚めに、新興国ではメキシコとポーランドのみに配分を行いました。当作成期中においては、ユーロ圏のスペイン、ニュージーランド等から、米国、オーストラリア、カナダ等への入れ替えを実施しました。また、ユーロ圏の長期ゾーン、カナダの超長期ゾーンの配分減を実行する一方で、ニュージーランドの長期ゾーン、カナダの長期ゾーンの配分増を実行しました。新興国では、インフレの減速が停滞したメキシコの配分減を実施したことで、新興国の比率は低下しました。当作成期末時点でも、メキシコとポーランドのみの配分としました。物価連動国債については、スタグフレーションのリスクに備え、米国で配分増を実施しました。

<通貨別配分>

当作成期間の円ウェイトは、参議院選挙や自民党総裁選を機に日本の財政悪化懸念が高まったことや、日米の関税合意において、米国への多額の投資が盛り込まれたことが円安に作用すると考え、当作成期末時点では約88%に引き下げました。円以外の通貨では、カナダドルを売り持ちから中立に転換、オーストラリアドルの買い持ち幅を拡大し、当作成期末時点ではスウェーデンクローナ、オーストラリアドル、ノルウェークローネ等を買持ち、ユーロを売り持ちとしました。新興国通貨では、人民元の売り持ち幅を拡大する一方、メキシコペソの買い持ち幅を拡大し、新興国通貨全体のエクスポージャーはネットで買い持ちとしました。

*「金利変動に対する債券価格の感応度」を示すもので、デュレーションが大きいほど、金利変動に対する債券価格の変動が大きくなります。

【組入債券の種別構成】

作成期末（2025年11月10日現在）

No.	種 別	比率（％）
1	国債証券	50.6
2	地方債証券	39.9
3	特殊債券	7.2

※比率は、マザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

【組入債券の通貨別構成上位5通貨】

作成期末（2025年11月10日現在）

No.	通 貨	比率（％）
1	ニュージーランドドル	25.0
2	オーストラリアドル	22.1
3	ユーロ	17.1
4	米ドル	13.8
5	カナダドル	9.2

※比率は、マザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

【組入債券の上位5銘柄】

作成期末（2025年11月10日現在）

No.	銘柄名	クーポン(%)	償還日	国(地域)	比率(%)
1	ニュージーランド国債	4.25	2034年5月15日	ニュージーランド	13.2
2	オーストラリア・ニューサウス・ウェールズ州財務公社債	4.75	2035年2月20日	オーストラリア	8.1
3	スペイン国債	5.75	2032年7月30日	スペイン	7.6
4	オーストラリア・ビクトリア州財務公社債	4.75	2036年9月15日	オーストラリア	7.0
5	イタリア国債	6	2031年5月1日	イタリア	6.6

※比率は、マザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

■ 当ファンドのベンチマークとの差異（2025年5月13日～2025年11月10日）

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

分配金（2025年5月13日～2025年11月10日）

基準価額の水準や市況動向等を勘案し、第325期から第330期の各決算期では、1万口当たりそれぞれ10円（税込み）を分配させていただきました。なお、収益分配金に充てなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて元本部分と同一の運用を行います。

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第325期	第326期	第327期	第328期	第329期	第330期
	2025年5月13日～ 2025年6月10日	2025年6月11日～ 2025年7月10日	2025年7月11日～ 2025年8月12日	2025年8月13日～ 2025年9月10日	2025年9月11日～ 2025年10月10日	2025年10月11日～ 2025年11月10日
当期分配金	10	10	10	10	10	10
（対基準価額比率）	0.258%	0.258%	0.256%	0.256%	0.255%	0.255%
当期の収益	10	10	10	10	10	10
当期の収益以外	－	－	－	－	－	－
翌期繰越分配対象額	152	153	158	160	163	164

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。小数点以下第4位を四捨五入して表示しています。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下四捨で算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<BAMワールド・ボンド&カレンシー・ファンド（毎月決算型）>

引き続き、「ベアリングワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンド」を高位に組入れて運用を行います。

<ベアリングワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンド>

米国の関税政策や米中対立、地政学的リスク等をめぐる不確実性は企業投資や家計消費を抑制し、需要ショックを誘引すると予想します。特に経済が開かれた小国は、外的な需要ショックを国内需要で賄いきれず、金融緩和で需要創出を図る必要性が増すと考えます。具体的には、ニュージーランド、オーストラリア、カナダなどが該当し、金利低下を期待できる有望な国と位置づけます。人口動態の構造的変化に伴う社会保障費増大に加え、循環的な成長鈍化を補う財政拡張がポピュリズム台頭と相まって、財政プレミアムを増大させると見て、イールドカーブのスティープ化への警戒を維持します。不確実性の高い環境下では、市場は時に非合理で極端な変動を示すため、機動的なリスク管理、分散投資を施しつつ、生じた投資機会を活用し、収益獲得を目指します。国別では、各国の長短金利差や金融政策等を睨んだ満期構成戦略を実施し、金利リスクの最適配分を目指します。

通貨配分については、ポートフォリオの対円での為替ヘッジ比率は、75%～100%でコントロールする方針とし、円高が予想される局面ではヘッジ比率を引き上げ、円安が予想される局面ではヘッジ比率の引き下げを検討します。円以外の通貨の主要なポジションとしては、ともに中央銀行が追加利下げに慎重な姿勢を示すほか、グローバルで財政規律が緩む中でも高い財政健全性に揺るぎのないスウェーデンクローナやノルウェークローネの買い持ち、物価指標が弱く、デフレの懸念がある人民元の売り持ちポジションを維持し、金利戦略とのバランスを図る方針とします。

お知らせ

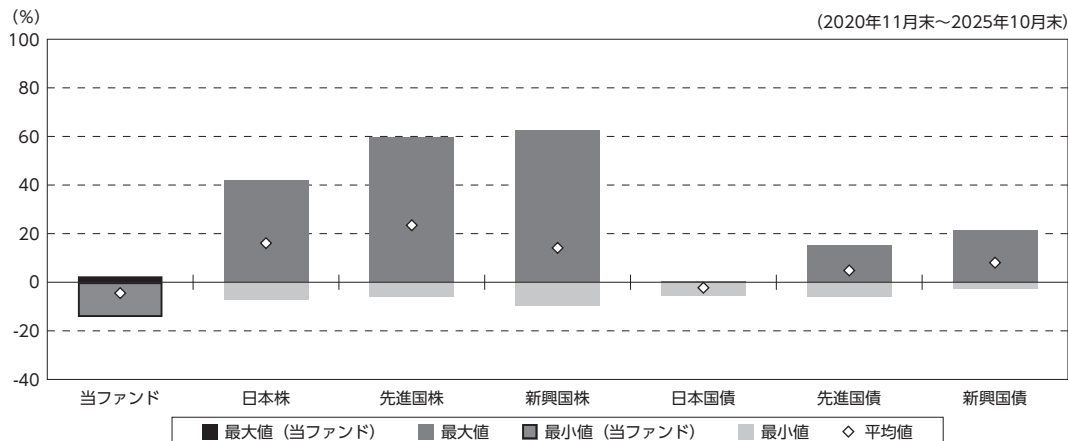
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／債券	
信 託 期 間	信託期間は1998年4月28日から無期限です。(当初、クローズド期間は1998年10月27日までです。)	
運 用 方 針	ベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンド受益証券に投資を行い、インカム・ゲインの確保とともに信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。	
主 要 投 資 対 象	B A M ワールド・ボンド & カレンシー・ファンド (毎月決算型)	ベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	ベアリング ワールド・ボンド & カレンシー・マザーファンド	世界の投資適格格付けの公社債を主要投資対象とします。
運 用 方 法	①主としてマザーファンドの受益証券への投資を通じて、以下の方針に基づき行います。 a) 世界の投資適格格付けの公社債に分散投資を行い、インカム・ゲインの確保と信託財産の長期的な成長を目指します。ただし、投資適格の格付けを得ていない場合でも、投資適格債に相当すると判断した場合は投資を行うことがあります。 b) 為替変動リスクのヘッジ目的および円ベースでの投資収益の確保を目的として、外国為替の予約取引を機動的に行います。 c) 信託財産に属する資産の価格変動リスクを回避するため、先物取引を行うことができます。 d) 公社債の組入比率は、原則として高位に維持することを基本とします。 ②マザーファンドの受益証券の組入比率は、高位に維持することを基本とします。 ③マザーファンドの運用にあたっては、ベアリング・アセット・マネジメント・リミテッド（英国法人）に運用の管理及び執行に関する権限を委託しています。	
分 配 方 針	毎月決算（原則として10日。ただし、休業日の場合は翌営業日。）を行い、経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額の範囲とし、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託会社が分配金額を決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合は分配を行わないことがあります。	

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	2.4	42.1	59.8	62.7	0.6	15.3	21.5
最小値	△14.3	△7.1	△5.8	△9.7	△5.5	△6.1	△2.7
平均値	△4.5	16.1	23.4	14.1	△2.3	4.8	8.0

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2020年11月から2025年10月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示し、当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した基準価額の年間騰落率が記載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

(注) 詳細は最終ページをご参照下さい。

当ファンドのデータ

組入資産の内容（2025年11月10日現在）

組入上位ファンド

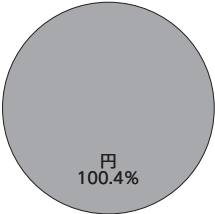
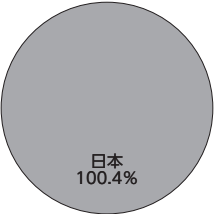
ファンド名	第330期末
	%
ベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンド	100.4
組入銘柄数	1 銘柄

(注) 組入比率は純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しています。
(注) 計理処理上、組入比率が100%を超える場合があります。（以下同じ）

資産別配分

国別配分

通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
(注) 国別配分につきましては発行国を表示しています。

純資産等

項 目	第325期末	第326期末	第327期末	第328期末	第329期末	第330期末
	2025年 6 月10日	2025年 7 月10日	2025年 8 月12日	2025年 9 月10日	2025年10月10日	2025年11月10日
純資産総額	11,755,230,108円	11,616,359,552円	11,466,933,966円	11,295,711,931円	11,164,930,787円	10,983,463,421円
受益権総口数	30,348,160,699口	29,996,696,471口	29,488,721,857口	28,991,143,977口	28,522,916,955口	28,103,428,530口
1 万口当たり基準価額	3,873円	3,873円	3,889円	3,896円	3,914円	3,908円

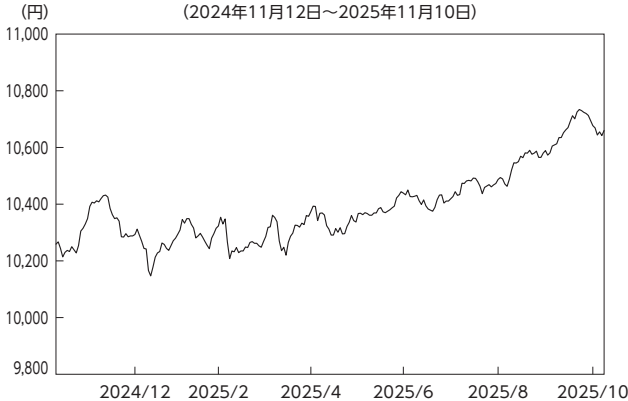
* 当作成期間中（2025年5月13日～2025年11月10日）における追加設定元本額は156,021,219円、同解約元本額は2,706,875,583円です。

組入上位ファンドの概要

ベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンド

【基準価額の推移】

(2024年11月12日～2025年11月10日)



【1万口当たりの費用明細】

(2024年11月12日～2025年11月10日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) そ の 他 費 用	5	0.051
(保 管 費 用)	(5)	(0.051)
(そ の 他)	(0)	(0.000)
合 計	5	0.051

期中の平均基準価額は、10,404円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

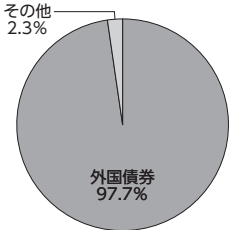
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

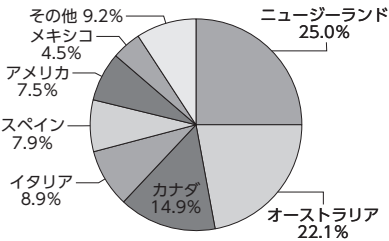
【組入上位10銘柄】

	銘 柄 名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
					%
1	ニュージーランド国債 4.25% 2034/5/15	国債証券	ニュージーランドドル	ニュージーランド	13.2
2	オーストラリア・ニューサウス・ウェールズ州財務公社債 4.75% 2035/2/20	地方債証券	オーストラリアドル	オーストラリア	8.1
3	スペイン国債 5.75% 2032/7/30	国債証券	ユーロ	スペイン	7.6
4	オーストラリア・ビクトリア州財務公社債 4.75% 2036/9/15	地方債証券	オーストラリアドル	オーストラリア	7.0
5	イタリア国債 6% 2031/5/1	国債証券	ユーロ	イタリア	6.6
6	オーストラリア・クイーンズランド州財務公社債 6.5% 2033/3/14	地方債証券	オーストラリアドル	オーストラリア	5.4
7	ニュージーランド地方自治体資金調達機関債 3.5% 2033/4/14	地方債証券	ニュージーランドドル	ニュージーランド	5.2
8	米国国債インフレ連動 3.375% 2032/4/15	国債証券	米ドル	アメリカ	4.2
9	カナダ・ブリティッシュ・コロンビア州政府債 5.4% 2035/6/18	地方債証券	カナダドル	カナダ	3.6
10	ハイドロ・ケベック電力債 9.5% 2030/11/15	特殊債券	米ドル	カナダ	3.4
	組入銘柄数		36銘柄		

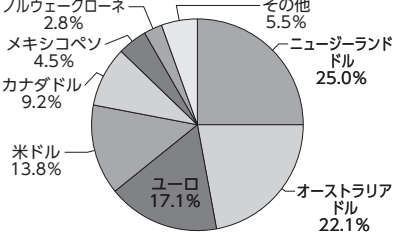
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2025年11月10日現在のものです。

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しています。

(注) 組入上位10銘柄の国（地域）および国別配分につきましては発行国ベースです。

(注) 通貨別配分は組入債券にかかる通貨別構成比です。

○代表的な資産クラスにおける各資産クラスの指数

日 本 株－東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株－MSCI－KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株－MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債－NOMURA－BPI 国債

先進国債－FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債－JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIX に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

MSCI－KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Index に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI Inc. が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Index に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

NOMURA－BPI 国債

野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA－BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE Fixed Income LLC により運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLC に帰属します。

JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

J.P. Morgan Securities LLC が算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLC に帰属します。